



週報

カトリック 園田教会

A年

2014年
6月1日(日)

No. 1902



6月1日(日) 主の昇天(祭日)

ミサ 9:00 ボナツィ神父

今日の聖歌と祈り

入祭の歌 : 典礼聖歌 106 シオンよ 喜べ

答唱詩編 : 「聖書と典礼」をご覧ください

アレルヤ唱 : 「聖書と典礼」をご覧ください

奉納の歌 : 典礼聖歌 98 しあわせな人

拝領の歌 : プリント オリベト山より(カトリック聖歌216番)

皆で唱える祈り : プリント 司祭の召命を求める祈り

閉祭の歌 : 典礼聖歌 140 全世界に行って

今日の典礼奉仕者

先唱	武永
聖体奉仕	Sr.辻家
第1朗読者	佐藤
第2朗読者	畠山
共同祈願・意向担当者	① 市瀬 ② 豊嶋 ③ 九十九 ④ 小野
奉納と献金	建設・営繕委員会
典礼当番	畠山、細木
答唱詩編	全員
オルガン奉仕者	山田

今日の行事・他

- ・日曜学校(信仰教育)
- ・百合学院バザー

お知らせ

- ・本日、百合学院バザーが開催されております。
当教会もバザーに出店(焼き鳥)しております。
皆さん多数のご来場をお待ちします。

本日は「主の昇天」の祝日です。

[主の昇天]

主の昇天の祭日は、復活したイエスが40日間にわたって使徒たちに現れた後、天に上げられたという使徒言行録1・1・11の記述に基づいて、復活の主日から40日目の木曜日に祝われます。

このような祝い方は5世紀ごろから定着したもので、それ以前は、たとえば4世紀末のエルサレムでは聖霊降臨の出来事と合わせて復活の主日から50日目に祝われていました。

なお、主の昇天の祭日が守るべき祭日でない場合は、復活節第7主日に移して祝うことができます（「典礼暦年と典礼暦に関する一般原則」7口参照）。

日本の教会もこの規定に従っています。

（カトリック中央協議会 HP カトリック典礼解説から）

* 言った。「ガリラヤの人たち、なぜ天を見上げて立っているのか。あなたがたから離れて天に上げられたイエスは、天に行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになる。」

（使徒言行録1・1・11）



今週の暦

6月2日(月) 集会祭儀 6:30～

6月3日(火) 《記》聖カロロ・ルワンガと同志殉教者
ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父

6月4日(水) ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父

6月5日(木) 《記》聖ボニファチオ司教殉教者
ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父

6月6日(金) ミサ 6:30～ 永富神父(男子パウロ会)

6月7日(土) ミサ 6:30～ ジョヴァンニ神父
・入門講座(9:00～10:00)
・教会清掃(総務:第1週)

6月8日(日) 聖霊降臨の主日(祭日)

ミサ・幼児洗礼 9:00 ジョヴァンニ神父

- ・聖霊降臨のお祝い(わかちあい)
- ・日曜学校(信仰教育)
- ・シモン会(ミサ後)
- ・「右近フェスタ」→城星学園ホール、13:00～16:00
- ・阪神地区広報委員会→武庫之荘教会、14:00～

